

カーバイトランプからLEDへ。釣り人に明かりを届け続ける

富士灯器が創業100周年

富士灯器株式会社(大阪市阿倍野区本
社西岡嘉一郎社長)は今年4月に創業100
周年を迎えた。カーバイトランプの製造
から始まり、現在ではLEDライトの人
気ブランドである「ZEXUS」やア
ウトドアブランドの「マイルストーン」
等を主に展開している。同社の歴史や今
後について本社を訪問した。



富士灯器が発売しているカーバイトランプ

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

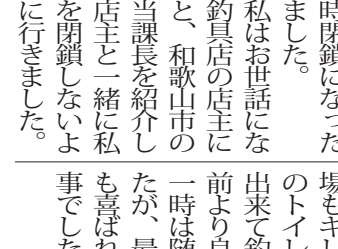
しかし、1918年頃
から世界的に大流行した
スペイン風邪によって嘉
夫氏の父が逝去。さらに
かとも製作所がカーバイ
トランプの生産を開始し
たのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。



富士灯器が発売しているLEDヘッドライト

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。



ゼクサスのZX-R730。100周年記念数量限定専用ケース付

戦後の同社の取引先は
炭鉱やイカ釣り等の漁業
関係が中心だった。し
かし、次第に電灯が普及
し、閉ざされる炭鉱も多
くなり、軍用灯も新た
な取引先を探していた。
昭和40年代に入ると戦
後から復興してレジヤ
ーブームの時代となり
の中で「大ブーム」とな
りつつあった釣り関係の業
者の取引がなくなった。
当時、流行していたの
は波止でのアジ釣りだ。
私現場と言えは加太で

歌山県を担当しており
加太も巡回していまし
た。2トントラックにか
1バイトランプ200ケース
を積んで行くのですが、加
太の漁業組合は観光協会
も交えて話し合いを行い
ました。

そこで、観光協会は当
時200円だったと思うので
すが入場料を取って清掃
を行う事になりました。
和歌山市もゴミ回収のた
めパッカー車を堤防の入り
り口まで回してくれよう
になりました。そして
釣り場を開放してくれたの
です。

当時の釣り人も増え
て、加太の大波止はいつ
も大賑わいの状態です。
観光協会としても、多
くの人が来てもらえるこ
とは大事ですし、入場料
の収入も相当な金額にな
ったと思います。老人会
等も良く清掃をしてくれ
ました。このおかげで釣
場もキレイになり、水栓
のトイレや手洗い場まで
出来て釣場としても
前より良くなりました。
一時は随分非難されましたが、最終的には地元
も喜ばれて嬉しい出来
事でした。(左に続く)

炭鉱員は酸欠になる前に
避難する事ができる。つ
まり、カーバイトランプ
は炭坑内を灯すだけでなく、
炭鉱員の命を守るセ
ンサーの役割も果たして
いた。

基本的には後に「尾すつ
ウミ釣り」で釣るスタイル
だが、今は異なる波止
は常夜灯もなく真っ暗
だ。夜釣りを魚を寄せる
必要もあるため集魚灯が
置かれています。これが全
多用途な商品となった
結果、カーバイトランプ
のゴミが原因で加太の大
波止が一時期閉鎖にな
った事がありました。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

バスブームの波に乗る

(右からの続き)時進出した。
代が進み、各地の堤防に
も常夜灯が設置され、釣
り方もサビ釣りや電気
ウミを使った釣りが流行
し、カーバイトランプは
次第に使われなくなっ
ていった。そこで、富士灯器
も夜釣りに関連したヘッ
ドランプや電気ウキ、そ
して釣りのシリーズ、小
型LEDヘッドライトのプ
ロダクト「マイルストーン」
のリリースや、魚(魚
入れ)の生産を行った。
その後、カーバイトラン
プのよみな、コも出な
いLPガスランプの集
魚灯が主力商品へと変わ
っていった。さらにLPG
(液化石油ガス)の技術
を活かして、ヒーター、
コンロ、ランタン等を生
産しアウトドア部門にも
進出した。

ルアーメーカーの人気の
拡大してきた事や、プラ
ックバス問題により状況
が変わり、再び次の方
商売が求められるよう
になってきた。
同社の大きな転換点
となるのは2009年にL
EDヘッドライトの「Z
EXUS」(以下、ゼクス)
をリリースした事だ。
ライトの燃料は時代
とともにカーバイド、L
PG、電気と変わってき
た。そして当時は白熱球
に変わりLEDが急拡大
し始めた時期だ。それ以
前、ヘッドライト等は白
熱球が中心であり、どう
しても球切れが起ころ
うが、切れぬLEDが登場し
た。LEDは明るく、かつ
寿命が長い。そして、
2012年に社長に就
任した西岡嘉一郎氏は
今までの富士灯器の常識
をアンダートンして、増
えた。次は、次の100年



ゼクサスのZX-R730。100周年記念数量限定専用ケース付

時代は流されず、次の100年を目指す

向けて西岡嘉一郎社長は
次のように語る。
「当社は本にお取引
先様に専念し、そしてか
わががって頂いたからこそ、
今、富士灯器がここに
あります。お取引先様、そ
して弊社製品を使って頂
いている釣りの人々へ、深
く感謝しております。
これからの時代は時代
に合ったものを作ってい
きます。時代の変化と具
に当社も変化してきま
した。私も時代がどうよ
うに変わっていくか、いつ
も注意深く見えています。
しかし、時代の変化に流
されるのではなく、当社
だからこそ付加価値を生
み出せるという事業を見
定めて、そこに注力して
いきます。次の100年に向
けて社員一同頑張ってい
きますので、今後ともよ
ろしくお願致します。」

富士灯器株式会社 百年史年表

1915年	富士灯器株式会社前会長・西岡嘉夫が誕生
1920年	大阪市港区船町にて高富製作所が「カーバイトランプ」を生産開始
1925年	嘉夫、9歳で両親と死別し叔母を尋ね高富家で預かってもらう
1933年	嘉夫、学問を身に付け、英語を話し中国やフィリピンにカーバイトランプを輸出
1946年	戦後、焼失により阿倍野区天王寺に社屋移動
1957年	高富製作所の「富」という文字を継承し、富士灯器株式会社として法人化
1963年	燃料「500g」の石詰め作業開始
1965年	得意先が金物問屋から釣具問屋に変わり「ベビーリール」「缶魚籠(カンピク)」を産出
1966年	現会長の西岡嘉宏が入社
1970年	「ヘッドランプ3個用(FC-300)」生産開始
1972年	「ヘッドランプ4個用(FC-400)」生産開始
1974年	「コードレス(FC-200)」の生産開始
1975年	「フリーライト(FC-100)」が誕生
1976年	新社屋完成
1977年	カーバイトランプの燃料「1kg」生産開始
1980年	フジ・フロート「FFシリーズ」生産開始
1984年	現会長の弟・西岡俊夫が富士灯器(株)カリフォルニア支店を始動
1985年	集魚灯としてLPG製品を生産・販売開始
1991年	FUJI-TOKI California Inc. 設立
1992年	西岡嘉宏が社長就任
1993年	アウトドア向けに「WESTHILL」を展開
1995年	現社長の西岡嘉一郎が入社
1996年	事業拡大の為、社屋拡張・マンズ社と代理店契約締結
1997年	「太刀魚シリーズ」販売開始
2000年	ウォーターグレムリン社と代理店契約締結
2001年	「FF-Bシリーズ」販売開始
2003年	富士灯器の新しいロゴ完成
2009年	LEDヘッドライト「ZEXUS」始動
2012年	西岡嘉一郎が社長就任・「FP-1000」、「FP-2000」販売開始
2013年	緑色LEDを搭載した電気ウキ「FF-LG」販売開始
2014年	「カーバイトランプ」の生産終了
2016年	社長の弟・西岡修平がアウトドアブランド「milestoneマイルストーン」始動
2018年	LPG製品の生産終了
2020年	milestone「ZEXUS」10周年
2020年	富士灯器株式会社 創業100周年

写真右より西岡嘉一郎社長、西岡嘉宏会長、西岡修平専務。コロナの影響で式典等は中止したが100周年を記念して日釣振への寄付や記念商品を開発した

(右下からの続き)時進出した。
代が進み、各地の堤防に
も常夜灯が設置され、釣
り方もサビ釣りや電気
ウミを使った釣りが流行
し、カーバイトランプは
次第に使われなくなっ
ていった。そこで、富士灯器
も夜釣りに関連したヘッ
ドランプや電気ウキ、そ
して釣りのシリーズ、小
型LEDヘッドライトのプ
ロダクト「マイルストーン」
のリリースや、魚(魚
入れ)の生産を行った。
その後、カーバイトラン
プのよみな、コも出な
いLPガスランプの集
魚灯が主力商品へと変わ
っていった。さらにLPG
(液化石油ガス)の技術
を活かして、ヒーター、
コンロ、ランタン等を生
産しアウトドア部門にも
進出した。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。

富士灯器(株)の創業は1920年で、当時大
阪市港区にあった富士灯器の前身である高富た
かとの製作所がカーバイトランプの生産を開始
したのが始まりだ。